

大口よしのり通信

大口よしのりホームページ <http://www.oguchi.gr.jp/>

発行: 大口よしのり後援会

- 国会事務所
東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館308号
TEL03-3508-7017
- 静岡事務所
静岡県静岡市葵区伝馬町23-6
TEL054-273-8739

衆院予算委員会 第八分科会特集

国1丸子藁科トンネル
4車線化へ 国交省



防災・巨大津波対策について質問する大口議員 = 3月5日 衆議院

大口善徳衆議院議員は3月5日の衆議院予算委員会第8分科会で、防災や巨大津波対策について静岡県内の自治体がかかえる諸課題について質問しました。

このなかで、災害時の骨格道路でもある国道1号静清バイパス丸子藁科トンネルの4車線化についての質問に、前田武志国土交通大臣は、「来年度に調査予算をつけて調査設計にはいる」と答弁しました。

また、新東名高速道路(本年4月14日に一部開通)が東海地震や、東海・東南海・南海の3連動地震などで閉鎖された場合、新東名高速道路を走行する車両が市街地に流入し、大渋滞が発生する恐れがあることに言及し、「インターチェンジ近くに、車などを退避させるスペースを確保する必要がある」と指摘。津島国交大臣政務官は、「関係機関と十分に、退避スペースの確保を含めて検討したい」と述べました。

さらに大口議員は、静岡県吉田町が町道を活用した津波避難タワーの建設を計画していることに触れ、「公道の上に作るのはアイデアだ」とし、国の支援を求めたのに対し、前田国交大臣は、「住民の方々は道路がどこにあるか知っている。公道に津波避難タワーを作るのはなかなか有効な手だてだ」と前向きな姿勢を示しました。

【現役職】《衆議院》法務委員会理事、消費者問題特別委員会理事《党役職》中央幹事、静岡県本部代表、東海道方面協議会議長、東海方面副議長、国会対策委員長代理《政務調査会・対策本部》法務部会長、財政・金融副部会長、内閣副部会長、経済産業副部会長、環境副部会長、憲法調査会事務局長、行政改革推進本部事務局長、政治改革本部副本部長、消費者問題対策本部事務局長、教育改革推進本部副本部長、地球温暖化対策本部副本部長、地方分権・地域主権推進本部本部員、男女共同参画社会推進本部委員、司法制度改革委員会事務局長、生活排水問題党委員会事務局次長、水戦略に関する検討委員会副委員長、報道と人権問題委員会副委員長《PT・懇話会等》民法772条問題PT事務局長、マンション問題議員懇話会幹事長、総合海洋政策PT座長、肝炎対策PT副座長、温泉活用・温泉地活性化PT副座長、「犯罪被害者等基本計画」推進に関するPT座長、ハンセン病対策検討PT副座長、食料安定確保・食料自給率向上対策PT副座長、登記事項証明書交付申請に係る手数料の引き下げに関するPT座長、海賊対策に関する検討PT副座長、雨水利用及び雨水貯留浸透施設の推進に関するPT副座長、難民政策PT顧問《議員連盟》中部日本横断自動車道推進議員連盟副会長

祝 新東名高速道路 開通



新しいわが国の
國土軸が完成！
御殿場～三ヶ日
162キロ開通

新東名開通式典でテープカットを行う大口議員(左から二人目)ら = 4月14日 新富士IC

4月14日、大口善徳衆議院議員は新東名高速道路(御殿場ジャンクション～三ヶ日ジャンクション間162キロ)の開通式典に出席し、長年にわたる関係者の皆様のご尽力と、地権者の皆様への感謝の気持ちを込めて、川勝知事らとともにテープカットを行いました。

これまで大口議員は新東名高速道路に関して、高速道路のネットワーク化、アクセス道路の高規格化、安倍川にかかる橋の二重構造化(併設橋)、さらに災害時の緊急支援、代替道路としての役割、さらに復旧復興等の観点から何度も国会で取り上げ、整備促進と一刻も早い完成に向けて尽力してきました。

テープカットのあと行われた新東名開通記念祝賀会では、中日本高速道路株式会社代表取締役会長兼社長の兼子剛一氏と懇談し、本日の開通をお祝いするとともに長年にわたる関係者のご労苦に感謝の意を表しました。

■新東名開通までの大口議員の質問

○大口議員 由比の地すべり地帯に国道1号、JR東海道線などが集中しており、切断された時に大変な事態になる。第二東名の推進が大事である。(平成7年2月7日 衆議院建設委員会)

○大口議員 第二東名の安倍川にかかる橋についても二重構造(併設橋)にしていただきたい。(平成7年10月19日 衆議院建設委員会)

○大口議員 各交通網と都市拠点を結ぶインフラを整備し、災害対策の観点からも道路のネットワーク化の推進が大事である。第二東名自動車道、中部横断自動車道、静岡空港、静岡東西道路、静岡南北道路などの整備が静岡市の魅力あふれるまちづくりに不可欠である。(平成18年2月28日 衆議院予算委員会)

○大口議員 第二東名自動車道の静岡サービスエリアにスマートインターチェンジを設置することが地域の活性化に非常に重要である。(平成19年2月28日 衆議院予算委員会)

農地への津波避難タワー建設 転用・開発許可不要

大口善徳衆議院議員は3月5日の衆院予算委員会第8分科会で、農地における津波避難タワーの建設について質問しました。この中で農地法5条あるいは農振地域整備法15条の2によれば、市町村が農地に津波避難タワーや津波避難マウンド等を整備し管理する場合は、法的に何の制約もないと訴え農水省の考えを質すとともに、このことをしっかりと地方自治体に徹底するよう訴えました。これに対し森本大臣政務官は、市町村が自ら設置する避難施設については、農地法の転用許可、開発許可を要しない。積極的に進めさせていただきたいと述べ、併せてしっかりとPRしていくと答弁しました。その後3月14日付で、この件について各市町村の関係部局へ周知徹底されるよう、農水省から各地方農政局の担当課長宛てに連絡文書で通知されました。



国道1号静清BP丸子藁科トンネル4車線化へ！①

国道1号静清バイパス丸子藁科トンネルの4車線化を推進する大口議員の質問に前田国交大臣は、2012年度に調査費をつけ、調査設計にはいると答弁。一日も早い供用開始にむけ尽力していきます。



国道1号浜松バイパスの防災機能強化を！②

三連動地震による巨大津波から市民の生命・財産を守るために、国道1号浜松バイパスを盛り土構造にし、防潮機能も備えた国道に整備し、多重防御による津波防災地域づくりを推進していきます。



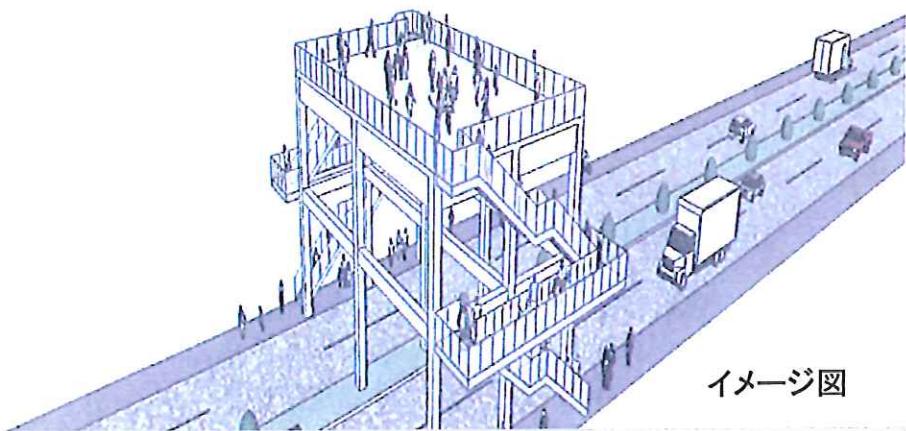
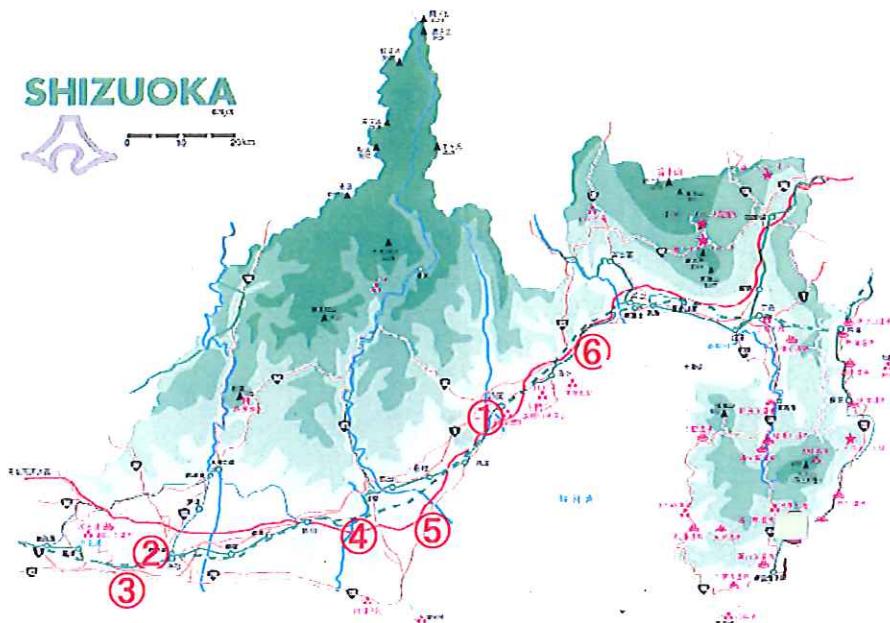
海岸堤防の整備、防災機能強化を！③

三連動地震による巨大津波から市民の生命・財産を守るために、遠州浜海岸の防潮堤の再整備とともに、多重防御による津波防災地域づくりを推進していきます。



富士山静岡空港を基幹的広域防災拠点に！ ④

都道府県単位では対応不可能な大規模災害時に、国と地方自治体が協力して応急復旧活動をするための基幹的広域防災拠点が中部圏にないため、高速道路にも近い富士山静岡空港への設置を推進しています。



道路空間を利用した津波避難タワーの推進を！ ⑤

静岡県榛原郡吉田町で計画している道路空間を利用した津波避難タワーを国会で紹介し、土地の確保で苦労している沿岸部の自治体に対し国として推奨するよう提案しました。



SA・PA・道の駅の防災拠点化を！

三連動地震による救援・復旧対策として、高速道路のサービスエリア（S A）・パーキングエリア（P A）や国道の道の駅を防災拠点に利用できるよう、機能・設備の追加・充実を推進しています。



新東名IC近くに退避車両のスペース確保を！

三連動地震により新東名からおろされた長距離移動車両が市街地に流入すると緊急車両の通行の妨げとなるため、インターチェンジ（I C）周辺に退避スペースを確保するよう提案しています。



現東名高速道路の総点検を！

三連動地震による巨大津波対策として、開通から40年以上経過する現東名高速道路の総点検の実施と、耐震補強、液状化対策、由比地区の地すべり対策・越波対策を推進しています。